

# 2023（令和5）年度 ファミリーソーシャルワーク研修会 開催要綱

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 中央福祉学院

## 1. 趣 旨

児童相談所における児童虐待相談対応件数は年々増加し、2021(令和3)年度は207,660件と過去最多となっています。また、要保護児童対策地域協議会に登録されているケース数は、2020(令和2)年度ですべての子育て世帯1,200万世帯の2.3%にあたる277,234件となり、地域の子育て家庭においても、貧困、経済的な不安定さ、子育ての不安や孤独といった生活上の課題を抱えています。社会的養護を必要とする子どもの課題も、複雑多岐にわたります。

2024(令和6)年4月から施行される改正児童福祉法により、全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへの一体的な相談支援を行う基幹機能として、市町村にこども家庭センターが設置されます。社会的養護施設は、子育て世帯に対する包括的支援体制を強化するため、こども家庭センターと連携・協働し、地域における子育て支援、虐待予防に対応する拠点となることが求められます。そして社会的養護施設等に配置されるファミリーソーシャルワーカーは、入所児童とその家族への支援だけでなく、自らが地域に出向き、地域で生活し、多様な課題を抱える子育て家庭の悩みや課題を把握し、さまざまな社会資源に「つなぐ」役割が期待されます。

今年度の本研修会では、ファミリーソーシャルワーカーが関わる家族支援をあらためて確認するとともに、改正児童福祉法の施行を前に、こども家庭センターとの連携・協働のあり方、家族支援にかかわる新事業への対応、多様な課題や背景を抱える児童とその家族への支援方法について学びます。

**本研修は、都道府県により社会的養護処遇改善加算対象研修となっています。詳細は、施設所在地の都道府県担当課に確認ください。**

## 2. 主 催

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

## 3. 共 催

全国児童養護施設協議会、全国乳児福祉協議会、全国母子生活支援施設協議会

## 4. 後援（予定）

公益財団法人全国里親会、全国児童家庭支援センター協議会、全国児童自立支援施設協議会、全国児童心理治療施設協議会、全国自立援助ホーム協議会、日本ファミリーホーム協議会

## 5. 参加対象

家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、母子支援員、少年指導員、家族（保護者）支援に携わる児童福祉施設職員や関係機関職員、里親、ファミリーホーム養育者・補助者 等

## 6. 会 場

中央福祉学院（ロフォス湘南） 〒240-0197 神奈川県三浦郡葉山町上山口 1560-44

（公共交通利用の場合）

JR 横須賀線「逗子駅」、京浜急行線「逗子・葉山駅」から路線バス利用 約 25 分

（自家用車利用の場合）

横浜横須賀道路「逗子 IC」から約 15 分

## 7. 研修日程・定員・申込締切

下記①、②の日程で開催（プログラムは同内容、定員各回 200 名、合計 400 名）

希望する日程の申込書を使用して申し込みください。定員に達した場合は募集を締め切ります。

**【研修日程①】 2023 年 9 月 6 日（水）～9 月 7 日（木） 定員 200 名**

**※ 申込締切：8 月 18 日（金）【必着】**

**【研修日程②】 2023 年 10 月 22 日（日）～10 月 23 日（月） 定員 200 名**

**※ 申込締切：9 月 29 日（金）【必着】**

## 8. 受講料

15,000 円（税込）※旅費・宿泊費・食事代は別途

- ・ 受講料は、後日送付する払込取扱票（払込通知票）によりお振込みください。
- ・ 研修期間中の宿泊・食事等は、別途案内します。研修施設と宿泊施設は同一建物（ロフォス湘南）です。近隣の場合、宿泊せずに通うこともできます。施設内の駐車場は無料です。

## 9. 修了証明書

本研修会のすべてのプログラムを受講した方には、研修終了時に、修了証明書を発行します。

## 10. プログラム

- ※ 2 回とも同一プログラムで実施しますが、一部の講師は異なります。講師・登壇者の最新情報は、中央福祉学院ホームページをご覧ください。

**第1日****【研修日程①】2023年9月6日（水）****【研修日程②】10月22日（日）**

時間	内容
12:00～13:00	受付
13:00～13:10	■開会・オリエンテーション
13:10～13:55 (45分)	■オープニングレクチャー 「子どもまんなか社会をめざして～アドボケイトを進めるために～」 子どもの権利を十分に保障していくため、ファミリーソーシャルワーカーが押さえておく考え方について学びます。 〔講師〕 【研修日程①（9月6日）】 ・川松 亮 氏（明星大学 教授） 【研修日程②（10月22日）】 ・河尻 恵 氏（国立武蔵野学院 院長）
13:55～14:00	休憩
14:00～15:20 (80分)	■シンポジウム 「子ども・子育て家庭の現状と、改正児童福祉法がめざすもの」 今、日本の子ども・子育て家庭にはどのような課題があるのか、そして家族のありようの変化や多様化する課題に対し、改正児童福祉法がめざす取り組みを通じ子どもの権利をどのように擁護していくのかを学びます。 〔登壇者〕 【研修日程①（9月6日）】 ・川松 亮 氏（明星大学 教授） ・末武 稔也 氏（こども家庭庁 支援局家庭福祉課 分析評価指導専門官） ・都留 和光 氏（全国乳児福祉協議会 広報・研修委員長〔東京都・二葉乳児院〕） 【研修日程②（10月22日）】 ・河尻 恵 氏（国立武蔵野学院 院長） ・末武 稔也 氏（こども家庭庁 支援局家庭福祉課 分析評価指導専門官） ・都留 和光 氏（全国乳児福祉協議会 広報・研修委員長〔東京都・二葉乳児院〕）
15:20～15:35	休憩
15:35～17:15 (100分)	■パネルディスカッション 「これからの子ども・子育て支援とファミリーソーシャルワーカーの役割」 改正児童福祉法の理念を具体化していくために、社会的養護施設等と地域の子育て世帯をつなぐファミリーソーシャルワーカーの役割が期待されます。多様な課題や背景を抱える子どもやその家族への支援、こども家庭センターや地域子育て相談機関との連携・協働のあり方、新たな取り組みへの対応等について学びます。

	<p>〔登壇者〕</p> <p><b>【研修日程①（9月6日）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川松 亮 氏（明星大学 教授）</li> <li>・末武 稔也 氏（こども家庭庁 支援局家庭福祉課 分析評価指導専門官）</li> <li>・右田 佳子 氏（川崎市こども未来局こども家庭センター〔川崎市中央児童相談所〕 所長）</li> <li>・齋藤 弘美 氏（全国母子生活支援施設協議会 副会長〔東京都・大田区立ひまわり苑〕）</li> </ul> <p><b>【研修日程②（10月22日）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河尻 恵 氏（国立武蔵野学院 院長）</li> <li>・末武 稔也 氏（こども家庭庁 支援局家庭福祉課 分析評価指導専門官）</li> <li>・右田 佳子 氏（川崎市こども未来局こども家庭センター〔川崎市中央児童相談所〕 所長）</li> <li>・赤池 裕 氏（全国児童養護施設協議会 副会長〔群馬県・希望館〕）</li> </ul>
17:15	第1日終了

※17:30より、当日の夕食を兼ねた参加者どうしの交流会を開催します。（希望者のみ、費用別途。詳細は後日お送りする案内をご覧ください）

**第2日**    **【研修日程①】 2023年9月7日（木）**    **【研修日程②】 10月23日（月）**

時間	内容
午前 9:30～12:00 (150分)	<p><b>■テーマ別分科会</b></p> <p>子ども・子育て家庭の多様化する課題に対して、改正児童福祉法により進められる体制整備の取り組みや新たな事業を活用し、社会的養護施設や関係者におけるファミリーソーシャルワークをどのように展開していく必要があるのか、テーマに分かれて検討します。</p>
午後 13:00～15:00 (120分)	
計 270分	<p><b>&lt;第1分科会&gt;「新たな時代のファミリーソーシャルワークの役割を学ぶ」</b></p> <p>ファミリーソーシャルワークに関する基本的な知識や考え方、法改正に伴う実践にあたっての考え方や社会的養護施設等の役割などを学びます。</p> <p>〔講師〕</p> <p><b>【研修日程①（9月7日）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山田 勝美 氏（山梨県立大学 教授）</li> </ul> <p><b>【研修日程②（10月23日）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山田 勝美 氏（山梨県立大学 教授）</li> </ul>
	<p><b>&lt;第2分科会&gt;「地域機関との連携の実際を学ぶ」</b></p> <p><b>（こども家庭支援センター、母子保健、里親、家庭支援）</b></p> <p>改正児童福祉法によるこども家庭センターや地域子育て相談機関との連携・協働のあり方、また里親への支援について学びます。</p> <p>〔講師〕</p> <p><b>【研修日程①（9月7日）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・増沢 高 氏（子どもの虹情報研修センター 副センター長）</li> </ul> <p><b>【研修日程②（10月23日）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小木曾 宏 氏（東京経営短期大学 こども教育学科 教授）</li> </ul>

<p>午前 9:30～12:00 (150分)</p> <p>午後 13:00～15:00 (120分)</p> <p>計 270分</p>	<p><b>&lt;第3分科会&gt;「親子関係の再構築を支援する」</b></p> <p>虐待やDV、障害、生活困窮や外国籍であることで、地域で生きづらさを抱えている子どもや家族の支援について、ファミリーソーシャルワーカーのかわりを学びます。</p> <p>〔講師〕</p> <p><b>【研修日程①（9月7日）】</b></p> <p>・志村浩二 氏（浜松学院大学短期大学部 幼児教育科長（兼）子どもの未来創造センター長・教授）</p> <p><b>【研修日程②（10月23日）】</b></p> <p>・志村浩二 氏（浜松学院大学短期大学部 幼児教育科長（兼）子どもの未来創造センター長・教授）</p>
<p>15:00</p>	<p>研修会終了</p>

## 11. 申込方法など

### (1) 申込書は郵送・FAX・Eメールでお送りください

希望する研修日程の受講申込書に記入の上、申込締切までに郵送、FAX、Eメールで本学院に郵送ください。申込は先着順にお受けしますが、定員を超える申込があった場合は募集を早期に終了することがあります。

研修参加費は、後日本学院から送付する振込用紙によりお支払いください。

### (2) 研修期間中の宿泊・食事・交流会申込

研修参加申込後、本会から宿泊施設（ロフォス湘南）・食事（交流会含む）の申込案内を同封しますので、希望の方は別途案内期日までにお申込みください。

### (3) 参加キャンセル・参加希望日程の変更

参加のキャンセルは、速やかに中央福祉学院までお知らせください。入金済の参加費は、研修前日までに連絡があった場合は返金します。研修当日以降の連絡は、参加費を返金できません。この場合、後日研修会資料を送付します。なお、宿泊・食事等のキャンセルは、期日より所定のキャンセル料が発生します。

申込後の研修日程の変更希望（研修日程①から②へ等）は、すでにお申込みいただいている研修日程をキャンセルした上で、あらためて希望する日程にお申込みください。この場合、変更を希望する日程において定員を超える申込があった場合は、変更希望の日程に参加いただけない場合があります。

## 12. 申込・問い合わせ先

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 中央福祉学院 ファミリーソーシャルワーク研修係

電話 046-858-1355 FAX 046-858-1356 Eメール gakuin01@shakyo.or.jp

開催要綱・申込書は、中央福祉学院ホームページに掲載しています

<https://www.gakuin.gr.jp/>

中央福祉学院 で検索